

ジャンボカラマツ周辺整備及び遊歩道・登山道整備

取り組みに至る背景・事業の目的

ジャンボカラマツの保存活動は、旧檜川村当時、ジャンボカラマツ保全協議会（事務局は役場）により行われ、ジャンボカラマツを經由する利用できなくなった登山道の復活が検討されていた。その後、塩尻市との合併に伴い、保全協議会の活動は停止状態であったため塩尻市と協議の上、新たに「ジャンボカラマツ保存会」を設立した。

村主導の活動と比べ、活動資金が十分でなく専門性が必要とされる測量が行えず、周辺地域を含む利用促進が十分に行えないため元気づくり支援金の活用を申請した。

事業内容

林野庁「森の巨人100選」に選定された「ジャンボカラマツ」へ繋がる遊歩道と茶臼山、駒ヶ岳を結ぶ登山道を整備することにより、登山愛好者などの誘客を図り、地域の活性化を進めた。



○登山道測量

かつて登山道であった廃道の復活のため、約6,000mの測量を実施した。
測量結果は将来予定しているコースマップ整備にも活用する。

○整備作業

地元住民や公募ボランティアの協力により、全長6kmの藪払い、雑木除去、看板設置等の作業を実施した。

事業効果

ジャンボカラマツを巡る遊歩道の整備と登山道の復活により、複数の周遊コースの提案が行えるようになり、トレッキングコースとして今後多くの登山者が訪れることが期待できる。

コース整備後、登山雑誌に記事が掲載されたことにより、県外からの登山者が訪れている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

登山道整備は多くのジャンボカラマツ保存会会員の有志によるボランティアで行われた。

登山道開通後には、前年より募集していた近隣カラマツの愛称募集の発表を兼ねた記念式典を行い、ボランティアの皆さんの労をねぎらうことで参加者全員が大きな達成感を実感できた。

整備には、一時的な立替払いが発生するため、資金繰りなどに工夫を要した。

今後は、コースの写真や見どころを掲載したマップを作成し、広く誘客を図っていきたい。

また、ボランティアガイドを育成し、年齢や体力、目的にあわせた森林体験や森林セラピーツアーなども企画したい。

【選定のポイント】

地域住民が主体的に埋もれた地域資源を再生させることにより地域の活性化を図った。

団体名	ジャンボカラマツ保存会（塩尻市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 0264-34-1122	事業費	755,929円
		支援金額	706,000円